

東京農業大学総合研究所研究会生物的防除部会の主催にて、オレゴン州立大学教授のP.C.Jepson博士を招き、講演会を開催します

8月1日は農大世田谷キャンパスへ！

生態毒性のリーダーJepson博士のレクチャー

IPMの要素技術である農薬、その天敵類への影響は直接的な生死で見られがちだが、天敵個体群の回復も含め、生物社会、生態系の中で考える。

Jepson先生は、同大学の環境毒物学の教授であり、総合的作物保護センターの理事も兼任され、欧米における生態毒性のリーダーとしてご活躍されています。この度、IUPACの開催に併せて来日されるに当たり、本部会での講演をご快諾いただきました。本講演会は、部会員に限定せず、公開にて行いますので、多くの方々のご参加をお待ち致します。なお、講演会終了後には、同先生を交えて懇親会を開催いたしますので、併せてご参加お願い致します。

日時 平成18年8月1日(火曜日) 午後3時30分より
会場 東京農業大学世田谷キャンパス1号館4階メディアホール
演者 米国オレゴン州立大学教授 Dr.Paul.C.Jepson
演題 Understanding and managing pesticide—natural enemy interactions as a critical component of IPM

会費 3,000円(資料代および懇親会費として)

懇親会場 世田谷キャンパス内カフェテリアグリーン

参加申込 下記連絡先へ、メールまたはファックスにて7月15日までに講演会参加および懇親会参加の旨をご連絡ください。様式自由。

申込先 E-mail:takeuchi@nodai.ac.jp ファックス:03-5477-2642

生物的防除部会事務局 竹内宛

